

かんげんこん!

No.121

News

February 2026

令和8年「新年のご挨拶」

関西原子力懇談会 会長 三島 嘉一郎



謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

平素より、会員の皆様はじめ行政の方々、関連団体の方々、立地地域の方々など、皆様方には関西原子力懇談会の活動に対し大変お世話になっており、誠に有難うございます。心より御礼申し上げます。

さて、原子力を巡る世界の状況に目を向けますと、2023年にドバイで開催されましたCOP28では、エネルギー安全保障と地球温暖化対策の両方に原子力が有効であるとの認識のもと「原子力三倍化宣言」が発表され、その後、これを支持する国が33か国に拡大するなど、原子力への期待が高まっております。

我が国におきましては、昨年2月に閣議決定された第7次エネルギー基本計画で「原子力の最大限活用」が明記され、再稼働の加速とともに次世代革新炉の開発・設置への道筋が示されました。皆様もご存じの通り、すでに稼働中のプラント14基に加えて、昨年末には北海道電力泊3号機、東京電力柏崎刈羽6、7号機の再稼働に向けて、それぞれの自治体のご理解が得られました。また、関西電力では、昨年11月に美浜発電所において後継機の設置をにらんだ「自主的な地質調査の再開」が発表されました。

新規建設は、電力の安定供給はもちろんですが、技術の継承、人材の育成・確保、サプライチェーン

の維持・強化といった喫緊の課題を解決するためにも必要不可欠なものです。そしてまた、我が国の将来を担う若者たちに夢と希望を与えるものです。原子力業界としては、原子力安全に最大限配慮しつつ、新規建設に向けて力を結集していく必要があると思います。

関西原子力懇談会は今年で70周年を迎えます。発電以来今日に至るまで、原子力発電所が立地する若狭地域にお住まいの皆様と、電力の一大消費地であります関西にお住まいの皆様に、原子力や放射線の利用についてご理解を深めて頂くべく活動を展開して参りました。

関原懇と致しましては、エネルギー基本計画を踏まえ、広報事業や技術事業など、従来の活動に加え、将来のリプレースに向けて、若い人達はじめ多くの方々にエネルギー、そして原子力について理解を深めて頂く年にしたいと考えております。そのためには、関原懇として何をなすべきか、これまでと同様に、関係者の皆様のお力をお借りしながら活動を展開してまいりたいと思っております。今後とも皆様のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

(みしま かいちろう 京都大学名誉教授)

当会では、原子力人材育成を行うべく、原子力産業セミナーを毎年秋に開催しております。
 また、今年度はよりすそ野を広げるべく、大学生を対象としたセミナー、見学会・交流会を積極的に開催して参りました。

見学会では大学の要望に応じて、関西電力㈱では、美浜発電所にて廃炉作業が進む1・2号機の格納容器内の見学や、安全対策について学びました。また、日本原子力発電㈱では、敦賀総合研修センターでの研修や、敦賀発電所3・4号機建設予定地および断層調査現場を見学。日本原子力研究開発機構では、高速増殖原型炉もんじゅの見学など、敦賀地域の原子力関連施設を巡り、深く学んでいく内容を実施しました。



敦賀総合研修センターでの研修の様子

<今年度の実施校>

- 9月13日(土) 近畿大学
- 9月30日(火)～10月1日(水) 名古屋大学
- 10月11日(土) 近畿大学
- 11月27日(土)～28日(日) 芝浦工業大学
- 2月9日(月)～11日(水) (予定) 関西大学
- 3月3日(火) (予定) 京都大学
- 3月10日(火)～11日(水) (予定) 近畿大学・福井工業大学・東京都市大学合同



敦賀発電所3・4号機建設予定地の視察



美浜発電所PRセンターにて集合写真撮影

■参加者の声と今後に向けて

見学会終了後に実施されたアンケートでは「本見学会で、使用済み燃料プールなどの発電所内部を見学することができて、とても良い経験になった。」「PR館など、地域住民からの理解を得るための活動が積極的にされていることを知ることができた。思っていたよりも安全に対する対策が実際に講じられていた。」など、原子力の安全対策の取り組みはもとより、様々な施設を見学することで、原子力に関する知識・技術の必要性を理解頂き、また、働く現場の職員の姿を見ることで、より原子力産業のイメージがついたとの意見が寄せられました。

文部科学省 原子力科学技術委員会では、委員より高校生以下の若年層への教育を求める意見が出ている中、当会では今年度試行的に、中学校・高等学校を対象とした発電所見学会を、出前授業等による事前学習とセットにて実施しました。今後も原子力人材育成のすそ野を広げるべく活動を実施して参ります。

2025年11月16日(日)大阪公立大学 なかもずキャンパスにて、研究発表会「ハイクラスラジエーションクラス」(主催:「みんなのくらしと放射線」知識普及実行委員会)が開催されました。本発表会では中・高校生が、放射線について広く考え、学生ならではの視点で研究・調査した成果を発表する場で、今回の発表会には、10校11グループが参加し、そのうち当会の課題研究活動支援を行った4校が参加しました。



課題研究活動支援



KIU アカデミー

[A safe, inexpensive, and easy method that will enable us to observe cathode rays in a Crookes tube using a plasma globe]



福井南高等学校

[原子力発電に対する高校生の意識について～高校生の原子力に関する意識調査 2025 速報値から～]



大阪府立高津高等学校

[分割シンチレータを用いた放射線検出器の開発～コバルト60を使った放射線識別実験～]



和歌山信愛中学校高等学校

[和歌山信愛中高×兵庫医科大学～中高生が学ぶ放射線の科学と医療応用～]



発表会では、「J-PARCのミュオンビームを使った μ 粒子の速度測定」、「ラドンの効果的な収集の仕方」などの実験・研究結果や、「原発の廃炉作業と放射性廃棄物の処理」、「福島の今と復興の未来」などの調査・探究結果についてなど、様々なテーマの発表がありました。また、演示実験を行いながら発表したり、参加者に意見を聞きながら、意見と調査結果の差異を説明したりと各グループで工夫を凝らしながら説明が進められました。

発表終了後、審査が行われ、最優秀賞には、名古屋大学教育学部附属中学校が、優秀賞には、当会にて支援を行った福井南高等学校が受賞されま

した。小田実行委員長からは「研究内容もさることながら、原稿を読むといった説明ではなく、自分たちの言葉で伝えるプレゼンテーションが特に良かった。」と講評頂きました。

また本発表会では、今年度実施された国際原子力科学オリンピック(INSO)の報告もあり、本発表会で活躍していたメンバーがオリンピックに参加して賞を受賞されたことを紹介。本発表会から世界に羽ばたく人材が育っていくことを期待された。

当会では、今後も次世代層がエネルギー・放射線について、自ら深く学習していく活動を支援し、エネルギー・放射線についての理解促進を図るとともに、次世代を担う人材育成に努めて参ります。

「INSO2025世界に挑んだ日本の高校生たち」

INSO-Japan委員会副委員長・日本代表選手選考WG長 角山 雄一
 京都大学環境安全保健機構 准教授

昨年夏、マレーシアで開催された第2回国際原子力科学オリンピック (INSO2025) に、日本から初めて高校生4名が挑戦しました。INSOは、原子力科学技術の平和利用に関する理解を深めることを目的に、IAEAの支援のもと2024年に始まった国際大会です。参加資格は大学進学前の20歳未満で、各国から最大4名の選手が集い、理論と実験の総合力を競います。初参加となった日本チームは、国内選抜試験やオンライン学習、さらにJAEAでの強化合宿を経て大会に臨みました。

当日理論の試験では、計測や核分裂、医療利用から宇宙探査まで幅広い分野の問題が用意され、また実験の試験では、放射化学滴定やγ線の遮蔽といった課題が与えられました。こうした挑戦に対し、日本選手たちは見事に全員がメダルを獲得(金1、銀2、銅1)、さらに実験試験最高得点賞と最優秀女性選手賞も受

賞しました。この大会は国際交流の場でもあります。閉会式では、何日も苦楽を共にした他国選手たちと語らう日本の高校生たちの笑顔がありました。

原子力科学は今や多様な分野に広がり、社会に不可欠な知識体系です。今回の成果は、日本の若者がその広大な世界に挑み、才能を示した証といえます。もし皆さまの周りに理科好きで探究心旺盛な高校生がいらっしゃいましたら、ぜひINSOへの挑戦をお勧めください。また、若い力がさらに飛ばたけるよう、皆さまのご理解とご支援をお願いいたします。この挑戦を継続し、さらに広げるため、どうか皆さまのお力をお貸しください。



INSO 日本公式サイト

<https://jn-hrd-n.jaea.go.jp/nhrdnINSO/>



「放射線取扱主任者試験(第1種)」受験対策講習会のご案内



INFO

当会では、放射線に対する正しい理解と安全な取扱技術の向上を目指し、1958年から受験講習会を実施し、放射線の技術者育成に努めてまいりました。

2026年度は「放射線取扱主任者試験(第1種)」受験対策講習会の実施を6月に予定しております。また4月以降、当会ホームページ等にてご案内致しますので、ご参加をご検討下さい。

【本講習会の特徴】

○経験豊富な講師陣による講義・演習

出題傾向を考えて作成したオリジナル演習テキスト、最新の法令改正に対応したオリジナル法令集など分かり易い講習テキスト等を使って、講義・演習を行います。

○受講前の予習をサポート

受講前に、基礎学習用テキスト(予習テキスト等)を提供します。自己学習により、一定の予備知識を持って講義に臨むことで、講習会は一層実り多いものになります。

○国家試験直前の再確認をサポート

国家試験前には、講師による精選過去問・解答・解説集を提供します。各分野の重要ポイントの再確認や自己の弱点発見等に効果的です。

○学生の受講を強力にサポート

学生割引を行います。

○科目別受講制度

ご希望の1日又は2日間だけを、割安な料金で受講できます。

